

シンポジウム「膜処理技術と水のリサイクル - どのようにリサイクルするか - 」

平成 20 年 6 月 16 日 (月)

主催 NPO 法人 21 世紀水倶楽部

1 開催趣旨

地球温暖化等の影響により世界各地で渇水や水不足が発生しており、農業や工業の発展に不可欠な水が資源として注目されるようになってきている。しかし、水は石油や鉄鉱石等の資源と違い、基本的には持ち運びのできない資源と考えられており、その解決策の 1 つとして排水処理水のリサイクルや海水の淡水化が推進されている。その中核的技術が膜処理技術である。

最近では、膜機能の向上と膜コストの著しい低減が図られ、欧米を中心に排水処理への膜処理技術の導入とその大規模化、処理水のリサイクルが進展している。膜処理は必要であればどのようなレベルにも浄化できる優れた技術であるが、膜処理水のリサイクルに当たっては直接的利用か間接的利用か、利用先はどこか、あるいは心理的側面までも考慮しなければならない。併せて、膜処理水をどのようにリサイクルするのが合理的かという点についての議論も重要である。

こうした観点から、最近の膜処理技術の動向や膜処理水のリサイクル例についてご講演を頂き、膜処理水のリサイクル推進へ向けての討論を行う。

2 日時 平成 20 年 6 月 16 日(月) 14 : 00 ~ 17 : 00

3 会場 下水道新技術推進機構 8F 中会議室
住所 : 〒162-0811 新宿区水道町 3 - 1 水道町ビル
TEL : 03-5228-6511、URL : <http://www.jiwet.or.jp>
地下鉄 有楽町線江戸川橋駅 4 番出口 徒歩 2 分

4 プログラム

(1) 講演 (14 : 10 ~ 15 : 40)

- ・ 「膜処理技術の動向」 東京大学環境安全センター 教授 山本和夫
- ・ 「統合的水資源管理技術と膜処理水循環利用 - シンガポール (PUB) と米国 (OCWD) のチャレンジ - 」 高知工科大学大学院工学研究科 教授 村上雅博
- ・ 「我国の MBR 導入状況と欧州の MBR 標準化の動向」 日本下水道事業団技術開発部 部長 村上孝雄

(2) 討論 (16 : 00 ~ 17 : 00)

(3) 懇談会 (17 : 10 ~ 18 : 10)

5 参加者及び費用

参加者	50 名 (先着順)
シンポジウム参加費	会員、大学、公共団体等 : 無料 民間企業等 : 2 千円
懇談会参加費	2 千円

6 申込み

21 世紀水倶楽部ホームページの参加登録送信フォームをお願いします。

申込み締め切り : 平成 20 年 6 月 6 日 (金)

ただし、定員に達し次第、締め切ります。